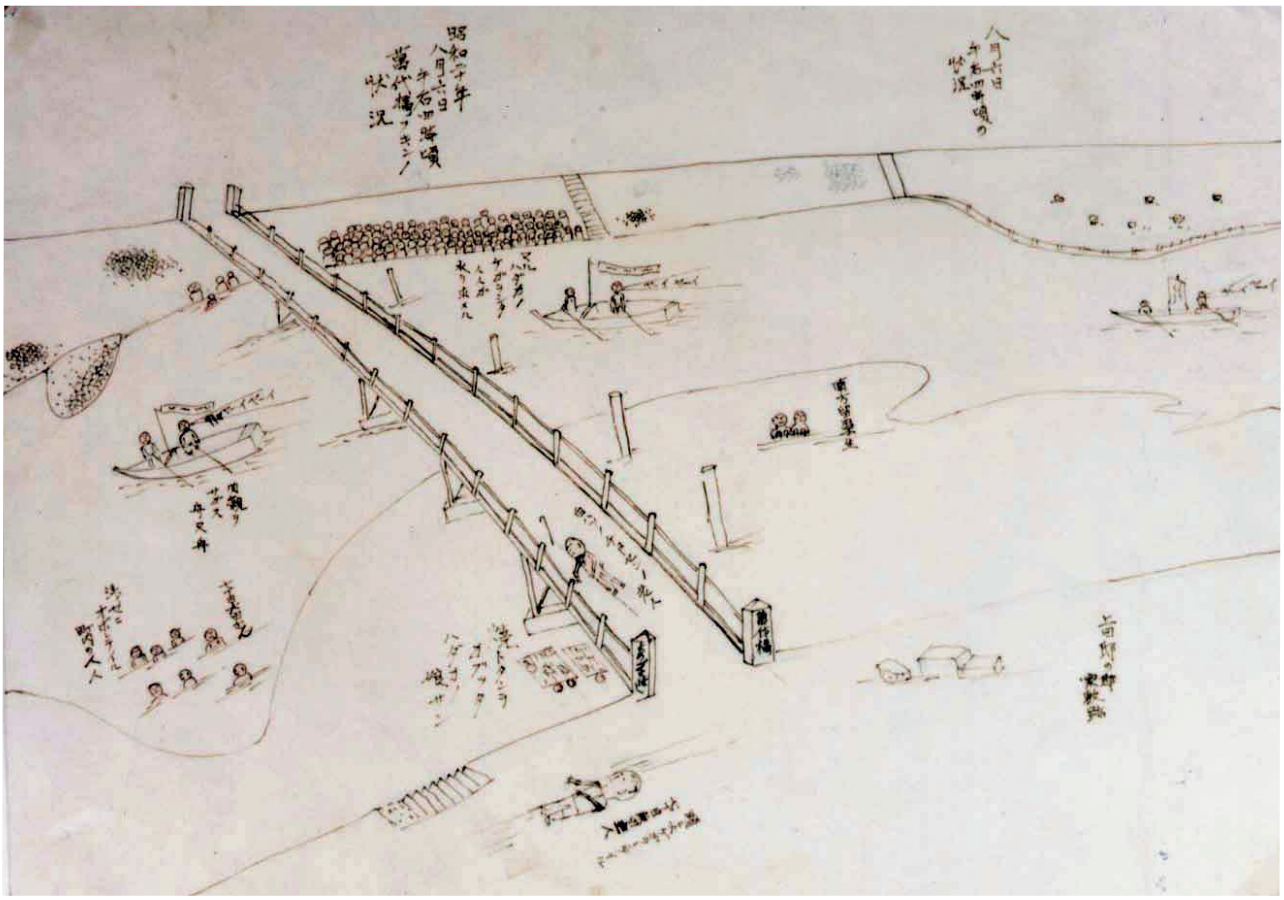
プロローグ　最初の一枚

昭和49年（1974年）5月、当時77歳の小林岩吉氏が、NHK広島放送局を訪れ、一枚の絵を差し出しました。

この絵がきっかけとなり、同局が「市民の手で原爆の絵を残そう」という呼びかけを行った結果、昭和50年（1975年）までの2年間で2,225枚の絵が集まりました。

平成14年（2002年）には、広島市、長崎市、NHK等が共同で再び絵の募集を行い、広島市には1,338枚の絵が寄せられました。

その後も、絵は絶えることなく描かれ続けています。



8月6日　午後4時頃の状況　❶小林岩吉　❷47→76　❸8/6　❹万代橋

丸裸のけがをした人々、水を求める人々、さがし人の舟また舟、外人2人、タイの留学生、朝鮮人、萬代橋

凡　例

❶作者氏名　❷当時の年齢→絵を描いた年齢　❸描かれた日
❹描かれた場所（町名は現在のもの）

キャプションは、絵の中や裏面、提出時に添えられた手記、その後の聴き取り調査等の内容をもとに作成しています。